社会福祉法人さぽうと21 就学支援（奨学金）

2027年度「坪井一郎（つぼいいちろう）・仁子（じんこ） 学生支援プログラム」（坪井基金）

募 集 要 項

概 要

社会福祉法人さぽうと21「坪井基金 」について



東洋熱工業株式会社の創業者、坪井一郎・仁子ご夫妻の遺贈をもとに、2005年に開始いたしました。日本に定住する**外国にルーツをもつ学生**で、優秀な成績を収め、将来国内外で活躍が期待されるものの、経済的に学業の遂行が困難な人に「生活支援金」を支給いたします。また、研修会や面談等を通じて進路や生活全般の相談に応じ、卒業後の自立に向けて学生生活を支援します。

応募資格

応募期間	**2026年 10月5日（月） ～ 11月20日（金）** ※ 必着
日本での在留資格	日本に定住する外国にルーツをもつ学生で、以下のa またはb に該当する人 a) 難民とその子など、本人／親が難民またはそれに準ずる背景により来日した人 b) 原則として「定住」「永住」の在留資格をもつ人 ※ 既に日本国籍になった人も含む ※ 「留学」の在留資格は対象外
学 年	2027年4月に **大学3年生以上** または **大学院** 在籍／進学見込み ※ 主に理系を優先（専攻分野の指定なし） ※ 大学院については、修士課程優先

給付内容

期 間	**2027年 4月 ～ 2028年 3月**	人 数	**20名 程度**
金 額（原則）	■ 大学院生：72 ～ 120万円 ／ 年 ※ 返済の義務なし ■ 大 学 生：60 ～ 100万円 ／ 年 ※ 他の奨学金と重複して応募可		

社会福祉法人さぽうと21 とは（1992年設立）

日本に定住する難民、中国帰国者、日系定住者及びその子弟など、外国ルーツの人々の自立を支援する団体です。難民の定住支援を目的として1979年に設立された「インドシナ難民を助ける会」（現 AAR Japan [認定NPO法人難民を助ける会]）の国内事業を引き継ぎ、1992年に社会福祉法人として設立されました。

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル6階 TEL：03-5449-1331 ／ Email：info@support21.or.jp

応募方法

応募期間：2026年 **10月5日（月）～11月20日（金）** ※必着

1 応募書類提出

＜応募書類＞

提出方法 ： レターパック、簡易書留（郵便局窓口）、持ち込み

① 応募用紙

ホームページよりダウンロード可

https:// support21.or.jp

② エッセイ

来年度の研究計画について

800 ～ 1000 字程度（日本語）

A4 横書き

必ず氏名を記入すること

③ 推薦状

推薦者は指導教官が望ましい

ホームページよりダウンロード可

※期日までに提出することが難しい場合は応相談

④ 住民票

同居する家族全員分

国籍、在留資格、続柄 明記

⑤ 収入の状況を示す書類

以下の a または b を提出

生計を同一にする家族分（学生以外）

a 課税証明書

b 生活保護 受給証明書

⑥ 成績証明書

3ヵ月以内に発行されたもの

GPA が明示されたもの

⑦ 合格通知書（コピー）

2027年度 入学予定者 のみ

追加書類の提出をお願いすることがあります。

結果通知：**12月下旬**

2 一次選考（書類）

3 二次選考（面接）

面接選考

1月17日・24日（日曜）

当法人事務所で実施予定（交通費支給）

受験校に不合格だった場合は再選考

結果通知：**2月中旬**

支援生に選ばれたら以下の義務があります

8月 頃	夏期研修会への参加
11月 頃	研究報告会での発表
毎月	研究活動等の近況報告

※その他に講演会、交流会での発表や、寄稿などをお願いすることがあります。

社会福祉法人さぽうと21

坪井一郎・仁子学生支援プログラム 受付係

〒141-0021

東京都 品川区 上大崎 2-12-2 ミズホビル6階

TEL：03-5449-1331 ／ Email：info@support21.or.jp

（ 対応時間：平日 午前10時 ～ 午後5時 ）